

# 波佐ネット通信

No. 236 2023.6.30

【参加団体】

西中国山地民具を守る会  
波佐文化協会  
能海寛研究会  
ほたる湯館G・ゴルフ場

## 企画展『藍染の型紙展』—江戸時代の 紺屋の型紙— 好評開催中！

今回展示している藍染型紙は、江戸時代の文化・文政(約200年前)から津和野藩時代に紺屋職を営んでいた室屋谷源右衛門(金城町長田)が使用していたもので、三重県の白子型紙・京型紙・地元産の型紙の3種類を収蔵しており、型紙の中には、漆を用いた型紙もあります。型紙は4通りの技法で彫刻され、型紙の下部及び左上には、仕入業者の印影が押印されており兄弟型紙の全国への流通調査も可能となります。今回は、70点の型紙を展示しております。

山陰中央新報 2023.6.28



職人技伝わる型紙

多彩なデザインの藍染めの型紙を紹介する 隅田正三館長—浜田市金城町波佐、金城歴史民俗資料館

【浜田】江戸末期から明治中期に使われたとされる藍染めの型紙を紹介する企画展が浜田市金城町波佐の金城歴史民俗資料館で開かれています。植物や図形などをあしらった職人の技が伝わる70点が目を引く。24日まで。

型紙は藍染めで模様を付けた紙を、柿渋を使って重ねて貼る。長期の藍染めに耐えられるよう強靱な紙質に仕上げられる。型紙にある模様は一度に7〜8枚の型紙を重ね、丸や直線、花びらの柄に合わせて数日本の小刀を駆使しながら彫って作る。

会場には菊の花や中心から外に広がる渦模様のほか、傘を差すカエルの絵柄といった手彫りとは思えない寸分の狂いもない多彩なデザインが並ぶ。

隅田正三館長(81)は「寄贈されなかったらおそらく焼却処分されていた。これだけ型紙が残るのは貴重」と話した。

開館時間は土、日曜日の午前9時〜午後5時。平日は予約が必要。問い合わせは隅田館長、電話090(4697)2818。

(宮廻裕樹)

## 環境美化 6月25日実施

恒例の文化財保護活動の一環で実施している金城資料館周辺の環境美化のための草刈り清掃作業を6月25日(日)に民具を守る会員が7名で4時間の作業を実施しました。

